

## 2020 年度

## 国 語

最初に、以下の注意事項をよく読んでください。

1. 問題冊子は監督者の指示があるまでは開いてはいけません。
2. 監督者の指示にしたがって、解答用紙に受験番号と氏名を記入してください。問題冊子は受験番号のみを記入してください。
3. 試験問題の内容に関する質問には答えられません。それ以外の用事があるときは手をあげてください。
4. 受験中気分が悪くなったときは、監督者に申し出てください。
5. 問題冊子および解答用紙は持ち帰らないでください。
6. 漢字で書くべきところは漢字で書いてください。

受 験 番 号	
------------------	--

\* 解答に字数制限がある場合は、句読点なども字数として数えます。

【一】 次のそれぞれの問いに答えなさい。

問一 ①～⑥の——線部のカタカナを漢字に直しなさい。

- ① 船のキテキが鳴る。
- ② 病状はシヨウコウをたもつ。
- ③ 手アみのセーターをもらう。
- ④ 優勝シユクガパーティー。
- ⑤ カタボウをかつがされる。
- ⑥ 父はテレビ局にツトめています。

問二 次の漢字の部首を書き、部首名をひらがなで答えなさい。

## 算

問三 次のの中から意味が似ていることばを二つ選び、記号で答えなさい。

- ア 要約
- イ 要点
- ウ 所属
- エ 要素
- オ 急所

問四 次の□に同じ漢字を入れて、四字熟語を完成させなさい。

- 立□歩

問五 次の□に生き物の名前をひらがなで入れて文章を完成させなさい。

□のなみだほどの予算で企画する。

【二】 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

「あれって、瑠奈へのいやがらせかなあ」

あたしの部屋で、麻緒がそういういながら、おせんべいに手をのばす。

「ああ、美化委員の？」

「ん。なんか、瑠奈、ハブられてる感じだし。学級委員にならなくてよかったって、本音をいったら、美月がおこっちゃったらしいよ」

「それにしても、あんな提案するなんてなあ」

あたしは、ため息をついた。また話しあわなければならぬと思うと、<sup>①</sup>気が重かったのだ。

「あたしもおどろいたよ。あんなの、どう考えてもへんだもん」

「だよ。あたし、司会やってたから、なにもいえなかったけど。掃除を一部の人におしつけるような提案、おかしいよね」

「けど、お調子者の男子たちが<sup>②</sup>のっちゃうかも」

「民主主義だろ、とかいってるヤツもいたしね。民主主義って、多数決なの？」

あたしが  をかきげると、麻緒もおなじように  をひねる。

「うーん。そうだけど、今度みたいなのは、ちがう気がする」

「あとさあ、東太がいったんだけど、美月が、あれてるって」

「へえ、見かけによらず、するどいねえ、東太」

麻緒は笑った。ということ、麻緒も同じように感じていたのだろうか。

「次の学級会がゆううつ。学級委員なんて、やるんじゃないかったよ」

「あたしが推薦したのが、よくなかった？」

「ごめん、そういう意味じゃないから」

あたしがあやまると、麻緒はくすつと笑った。

「だいじょうぶ。照葉てるはならきつとうまくやれる。あたしも協力するから」

「うん。たよりにしてるよ」

あたしも笑顔えがおを返す。自分でやるというってひきうけた学級委員の仕事なのだから、  
は、がんばるしかない。

1

うまく解決したい。そのために

「俊輔しゅんすけにも、協力してつたのんでおかし」

「ええ？ 麻緒、佐藤くんと、そんなに仲いいの？」

「そうじゃないけど、ずっと委員、いっしょにやってたもん」

麻緒はほんのり顔を赤らめた。でも、麻緒や俊輔が協力してくれるというのは心強い。

あたしは、机の上にもおいてある、<sup>③</sup>マンデラの伝記をちらつと見る。表紙に書かれたマンデラの顔。そうとうひどい目にもあったのに、おだやかな笑顔だ。たくさんの人がマンデラの笑顔はとてすきだったといっている。それは、自由を求めて、あきらめずに闘たたかいつづけた人だからだろう。そしてそんなマンデラだからこそ、人びとをばげまして、マンデラ自身も多くの人に支えられたんじゃないだろうか。

今度の学級会では、大きな声を出したり、感情的になつたりしないように、気をつけなくちゃ。そして、それぞれのいいぶんをちゃんときくこと。多くの人ときちんと話すことが大事だって、区議会議員を目ざしている田中さんもいつていたもの。

学級会の日。

「先週の提案について話しあいたいと思います。いろいろな考えがあるかと思いますが、意見は自分で考えたことをいってくだ  
な」

あたしは、「自分で」という言葉をちょっと強調していった。

「では、最初に、掃除は美化委員が中心になっておこなうという提案について、賛成の人は、手をあげてください」  
ぱらぱらと手があがる。東太が声を出しながら数えて、九人と黒板に記す。

「じゃあ、反対の人」

さっと手をあげたのは薫<sup>かおる</sup>。麻緒や俊輔も手をあげたが、全部で七人。

「お、勝ったぞ」

賛成した男子が声をあげた。

「しずかにしてください。半分近くの人がどちらにも手をあげてないのだから、賛成多数とはいえません」

あたしは少し声をはりあげていった。するとすぐに美月が手をあげた。

「議員とかの選挙でも、選挙に行かなかった人の分は、カウントされません。だから、賛成多数です」

すぐに、麻緒が手をあげた。

「クラスのことと、議員の選挙をいっしょにすることはできないと思います」

「どうして？ できない理由をちゃんといつてよ」

美月が大きな声を出した。

「好き勝手に発言しないでください！」

あたしは、負けずに大きな声を出した。

「いよ、ソーリ！」

男子の声がとんで、思わずそっちのほうをにらんでしまった。そのとき、手をあげたのは薫だった。あたしはすぐに指名する。

「福田さん、どうぞ」

「議員は代議制<sup>注1</sup>だけれど、クラスのことを決めるのはちがう。だから、いっしょにはできないと思う」

大きな声ではなかった。けれど、あまり発言することのない薫の言葉に、いっしゅん、教室内がしずまった。しかも、代議制

なんて、ききなれない言葉を口にしたことに、あたしも思わず目を見はった。

また麻緒が手をあげたので、指名した。

「福田さんの意見に賛成です。このクラスのことだし、議会とかとちがって、クラスの人数は三十二人です。だから、みんながどんなふうを考えているのか、もつといろんな意見をきくべきだと思います」

麻緒の言葉をききながら、ちらつと東太を見る。すると、東太が小さくうなずいた。

「では、意見のある人は、積極的に発言してください」

そうはいったものの、こういうとき、発言する子はどうしてもかぎられてしまう。じゃあ、2自分が司会でなければ、なにをいっただろうか。そんなことを考えていると、また美月が手をあげた。

「美化委員は、掃除のことがよくわかっています。わかっている人がかんとく監督するのがいいと思います。それに、あたしの意見に賛成の人のほうが多いんですから」

それに対して、反対する声はすぐにあがらなかった。でも、このままでいいはずはない。そのとき、急にひらめいた。

「今、田中さんから、美化委員は掃除のことがわかっていという意見が出ました。それでは、委員とはなにか、それから当番とはなにか、それは同じようなことなのか、そうじゃないのか。そういうことについて、なにか意見はありませんか」

すると、今までずっとだまっていた俊輔が手をあげた。

「佐藤くん、どうぞ」

「ぼくの考えでは、委員と当番はべつのことです。当番というのは、みんなで交替かぎにやるものだと思います。だから、当番を委員におしつけるのはまちがいだと思います」

すかさず美月が手をあげる。

「おしつけるなんていってません。監督するんです。みんなが掃除当番さぼっていいなんて、あたし、いってないでしょ！ とにかく、多数決なんだから」

また薫が手をあげる。

「なんでもすぐに多数決というのはちがう。少数意見の尊重って言葉もある」

発言したあと、椅子にすわった薫が、ちらっと瑠奈を見る。薫は、瑠奈のためにがんばっているのかもしれない。そのとき、あたしといっしょに、前に出ていた東太が手をあげた。

「おれも五年一組の一員としていいんだけど、当番っていうのは、日直も給食当番もそうだし、みんな平等にやるもんだと思う。それに委員って、みんな好きでやっているヤツばかりじゃないと思う、思います」

あれっ？　と思った。こんなふうには、東太がみんなの前で自分の意見をいうなんて、めずらしい。しかも、当番が平等にやるもんだって、いつてくれた。でもすぐに、

「図書委員の子は、本好きだし、放送委員はアナウンスとか好きな子がやってるじゃん」と、美月の取りまきがあった。

「でも、すべてがそうじゃないだろ」

東太が思わず大きな声を出した。気もちはわかる。でも、学級委員が、3 そんなこといっちゃダメだよ、東太……。あたしは、東太をちらっと見てからいった。

「しずかにしてください。では、今までに出たいろんな意見もふくめ、美化委員の人がどう思うか、考えをいつてくれますか」と、男子の美化委員が立ちあがった。

「おれは、好きでやってるんじゃない。推薦されたから、しかたなく、委員会に出てるんです」

「でも、ひきうけた以上、責任があるでしょ」  
美月が、また大きな声でいった。

「そっだよな。やるって自分でいったんだからな」

「じゃあ、自分がやりたくない委員になつたらどうすんだよ。人気がない委員だって、だれかがやらなきゃなんねえだろ」  
また教室内がざわついた。

「しずかに！　では、竹下さん、意見がありますか」

あたしが瑠奈にむかっていうと、瑠奈はまわりを気にするように見てから、4 立ちあがった。

「あの、あたしの考えですが……」

「きこえません！」

だれかがいうと、薫がそっちのほうにむかって、

「しずかにしなよ！」

とどなった。

「竹下さん、では、なるべく大きな声で発言してください」

「あたしは美化委員です。美化委員の仕事は、学校内の美化について、考えたりすることです。だから……つまり、委員というのは、クラスの代表として、学校全体のことを考えるんだと思います。それが、みんなで交替でやる当番とはちがうことなのだと思います」

すると、ばらばらと拍手がおこった。

「なるほど、委員というのは、学校全体のことを考えるもの、という意見が出ました。ほかに意見はありますか」  
手をあげたのは、麻緒。

「今の、竹下さんの意見に賛成です」

「ほかにいますか？」

声はあがらなかった。

「では、もう一度、採決します。田中さんの提案に賛成の人、手をあげてください」

いくつか手があがって、東太が数える。六人だった。

「では、反対の人」

さつきより多くの手があがった。全部で、十七人いた。学級委員のふたりをのぞくと、七人がどっちにも手をあげなかったことになるが、反対意見は半数以上だった。

「では、今の結果から、反対が多数になりました。これについて、提案した田中さんから、なにか意見がありますか」



「多数決で決まったことだから、それでいいです」

美月はそっけない口調でいった。<sup>⑤</sup>

その日、終わりの会が終わったあとで、あたしと東太は、吉田先生によびとめられた。

「ごくろうさま。いい学級会だったね」

「えっ？」

「がんばったのは、三木さんです」

「でも、ふたりが協力してる感じが伝わってきたよ。かんたんに決めないで、なるべくみんなの意見をひきだそうとしながら、二度採決したのがよかったわ。三木さん、なかなかリーダーシップ、あるわね」

「さすが、ソーリだな」

ぼつりと東太がつぶやく。

「えっ？」

「なんでもありません！」

あたしはあわててそういうと、東太をにらみつけた。<sup>⑥</sup>でも、もしかして、ほめ言葉だった？

先生の言葉はうれしかった。学級委員としてみとめられた気になった。

（濱野京子『ソーリ！』〈くもん出版〉より）

注1・代議制……国民が選挙によって代表者を選出し、代表者の構成する議会を中心として政治を行う制度。議会制度。

問一

1

4

1 に入ることはとして適切なものを次の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。(ただし、同じものは使えない。)

- ア もしも      イ いきなり      ウ なんとなく      エ ゆっくり      オ なんとか

問二

X

X に入る適切な漢字一字を答えなさい。

問三

~~~~線部A「目を見はった」、B「すかさず」とあるが、本文における意味として適切なものを次の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

A 「目を見はった」

ア 理解できなくて困惑した

イ 知識の豊富さに圧倒された

ウ 意外なことに驚かされた

エ 話をそらされていらだった

B 「すかさず」

ア すぐに

イ めげずに

ウ とくいげに

エ おもむろに

問四

——線部①「気が重かった」とあるが、このときの照葉のようすとして適切なものを次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 間近にせまる学級会の司会が負担に思われてどうにも気が晴れない。
- 2 学級委員という、人がいやがる大変な仕事に音を上げている。
- 3 クラスメイトの身勝手な意見のせいで仕事がおもしろくない。
- 4 美月と言いつ争いになるのではないかとよく悩んでいる。

問五

——線部②「のっちゃう」とあるが、その説明として適切なものを次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 学級会を邪魔しようとして大声で騒ぎ立てること。
- 2 裏で連帯して掃除当番をさぼる計画を立てること。
- 3 調子にのって自由気ままな意見を言い出すこと。
- 4 自分たちにとって都合のいい意見に賛成すること。

問六

——線部③「マンデラの伝記」とあるが、これを見たことによって照葉はどのような気持ちになったか、適切なものを次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 どんな理不尽な要求が出ても堂々と対応し、まちがった勢力にはけっして屈しまいという気持ちになった。
- 2 学級委員としてふさわしい態度をあらためて確認し、学級会に向けて前向きに取り組もうとする気持ちになった。
- 3 クラスの自由をうばい誰かが悲しむような提案を、ぜったいに許さないという気持ちになった。
- 4 さまざまな困難な状況に正面から立ち向かった彼のやり方を、自分も真似してみたいという気持ちになった。

問七

——線部④「でも、このままでいいはずはない」とあるが、照葉がこう考えている理由を五十字以内で答えなさい。

問八

——線部⑤「そっけない口調でいった」とあるが、このときの美月のようすとして適切なものを次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 クラスの意見が自分の納得なっとくできない方向にまとまって不満だが、素直すなおに負けを認めたくないので気にしていないふりをしている。
- 2 自分の意見がクラスメイトから否定され、途中から反対意見が増えたことがどうしても我慢がまんできず、悔くやしさのあまり我を忘れてしまっている。
- 3 話し合いの結果から、やりたくもない当番が自分にもまわってくる不公平さにどうにも我慢がまんがならず、不愉快ふゆがいになっっている。
- 4 ふだんも自分の意見が通らないことはなかったのに、照葉の司会進行のせいで思わぬ結果となり、彼女への不満で言葉が少なくなっている。

問九

——線部⑥「東太をにらみつけた」とあるが、このときの照葉のようすとして適切なものを次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 東太はつねに感情的になり周囲が見えなくなるので、先生がいる前でまた余計なことを言ったと思っている。
- 2 学級会の進行中にソリーと冷やかされたことがあったため、先生の前でまたからかわれたと早とちりした。
- 3 本当は学級会でも協力的で頼れるクラスメイトのはずなのに、吉田先生がいるとすぐ調子に乗るのを注意している。
- 4 せっかく褒めほめてくれた先生の前で知られたくないあだ名をつぶやかれたことで、うれしい気持ちで台無しになった。

問十 「美月」の人物像として適切なものを次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 クラスメイトが喜ぶ新しい提案をするなど、クラス全体のことを考え、リーダーシップを発揮できる強気な性格である。
- 2 美化委員の瑠奈に対抗意識があり、彼女がおとなしいのをいいことに、何でもやらせようとする図々しい性格である。
- 3 クラスで影響力のある存在であり、自分が納得できない考え方に対しては抵抗せずにはいられない勝ち気な性格である。
- 4 短気で怒りやすく、はっきり意見をいうことができない人に対しては、いらだちをぶつけてしまう神経質な性格である。

【三】 次の文章は多くの人が嫌っているヘドロと、そうしたヘドロを大事にして保全しようとしている干潟という場所について書かれたものである、以下の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

干潟は、主に川から運ばれた土砂が河口にたまった場所を言います。有明海は大きな干潟があることで有名です。そこには、多くの生物が生息し、中でも、魚類のムツゴロウ、トビハゼ、甲殻類のシオマネキ、それにハイガイ、ウミタケなど、珍しい生物がいます。そこで、生物多様性が注目されるようになった今、多様な生物が生息する場として、干潟が脚光を浴びています。そして、干潟の保全活動も盛んになってきました。

では、なぜ干潟には多くの生物が生息し、多様性が高いところとなっているのでしょうか。

一言で干潟といっても、場所によって砂がたまったり、泥だらけのところがあります。それも必ずしも平坦な土地ではなく、複雑な起伏があるため、潮の満ち引きによって、海水に曝される時間が場所によって異なります。また、潮が引いた後に川からの淡水に曝されるところもあります。その結果、それぞれの環境に X したさまざまな生物たちがそこで生活するようになったのです。環境が不均一であることが、生物多様性を高める要因のひとつであることは、これまでも述べてきました。

ただし、その中でも重要なことは、干潟に多くのヘドロがたまっている事でしょう。多様な生物がみられることで有名な有明海は、ヘドロがたまった泥干潟です。

② ヘドロの中では、大量に含まれている有機物を食べているバクテリアが多く、そのバクテリアをさまざまな微生物が餌として増殖しています。それがさらにゴカイなどの大型の動物の餌となり、その動物たちが、捕食者の鳥たちを呼び寄せているのです。また、ヘドロの有機物が、バクテリアを始め多くの生物に食べられて分解すると、有機物中の窒素やリンが無機物となつて水中に溶け込みます（溶存態になります）。すると、その窒素やリンは、太陽光の下で水中の植物プランクトンの増殖を促します。そして、植物プランクトンは水中の有機物の粒子を集めて食べる貝類の餌となり、その貝がまた、それを餌とする鳥を干潟に呼ぶこととなります。

有明海と並んで、近年有名になった東京湾の三番瀬干潟では、しばしばアオサが大発生するそうです。そのアオサは海藻の一種で、植物プランクトンと同様に、リンや窒素を必要とし、水中の溶存態窒素やリンを体表面から取り込んでいます。そして、太陽の光エネルギーを用いて増殖しているのです。

すなわち、干潟で生物多様性が高いのは、富栄養湖で生物多様性が高いのと同じ理由なのです。

干潟の保護活動をされている方が、干潟に多くの生き物が暮らしていることを見て、「ここを『ヘドロの海』と言う人がいるが、それはデマであることを実感した」といった表現をしているのを、ホームページ上で目にしました。それを書いた人は、「ヘドロの海」は悪いものであり、多様な生物が棲んでいることは良いところ、という考えがあったように思えます。①、干潟に多様な生物が棲んでいるのは、そこが『ヘドロの海』だからなのです。そうすると、③「ヘドロの海」は必ずしも悪いところではないということになります。

このことは、泥干潟は、ハスの咲く池や、アオコが発生している富栄養湖と同じであることを示しています。

では、なぜハスが咲く池や富栄養湖ではヘドロが嫌われ、干潟では②されるのでしょうか。それには、その環境が好氣的（酸素がある状態）か嫌氣的（酸素がない状態）か、という事が関わっています。

池や湖のヘドロは、常にたまっていく水の底にあります。ここではヘドロの中の有機物を分解している細菌によって水中に溶け込んでいる酸素が消費されます。すると、水中の酸素がなくなり、硫化水素が発生するなどして、水は臭くなります。

一方、干潟では、潮の満ち引きによって水位が大きく変動します。②、干潟のヘドロは、満ち潮のときには水中に沈みますが、引き潮のときには水面から姿を現し、大気にさらされます。そうすると、酸素欠乏にはならないので、嫌氣的な環境で生じる水の悪臭はなくなるのです。ただし、干潟でも、そこに窪地がつくられると、潮の満ち引きにかかわらず、そこには常に水がたまった状態になります。③、細菌アノはたらきによって水中の酸素がなくなり、異臭を放つようになります。

そのように考えると、ヘドロは、さまざまな場所で生き物たちに豊富な栄養を与えて多様性を高めているのに、場所によって良いところになったり、悪いところとされるのは、人間の身勝手な判断だといえるでしょう。

ところで、これまで述べてきたように、水質汚濁は生物多様性を高めることが多いのですが、多くの人が汚濁は多様性を下げていると考えているようです。なぜでしょうか。

それは、水質汚濁は人間生活が招いたものであり、その人間活動は常に自然環境を変え、それがそこに棲む生物たちに悪影響を及ぼしている、という固定観念を持っているからではないでしょうか。

多くの生物が集まっている干潟の中には、そこに流れ込む川の上流域の人間が排出した、大量の有機物が流れてきてつくられたところもあるでしょう。もしそうだとすると、その人間による有機物汚染は、干潟に棲む生物にとっては良いこととなります。そうになると、水質が汚濁した湖と干潟は同じ要因でつくられているのに、前者は悪で、後者は善というのは人間の一方的な視点に依存したおかしな評価のように思えます。

多くの場合、生物多様性の高い場所を保全しようといっても、結局、人間の感覚に合った場所、環境が優先されているように思えてきました。

客観的に生物たちを見て、そしてその生物たちを取り巻く環境を考えることが肝要でしょう。

ところで、干潟のように野生の鳥が多く集まる場所が人々に好まれています。同じ野生の鳥でも、カラスが集まるのは嫌われます。

本章のはじめに話したように、カラスの増加は、人間生活の影響（人間が、生ゴミを大量につくったこと）の結果でしょう。そのため、多くの地域では生ゴミをきちんと管理して、カラスに食べられないようにしています。

その一方で、カラスの場合と同様に、人間が生み出した大量の有機物が川を通して流れ込み、多くの鳥たちを集めている干潟は良いところといってもいいのでしょうか。やはり、ここでも【 Z 】 さが見られます。

また、第1章で、人間が出す生ゴミを餌としているカラスは、遠い外国の農地で行われた作物を起点とする食物連鎖に組み込まれていると述べました。そのことは、カラスも人間と同じく、化石燃料のエネルギーを用いて得られた食物に依存していることとなります。このことは、他のさまざまな野生動物にもあてはめられるでしょう。



4

、ハクチョウの飛来地では、人々が組織的にハクチョウに餌を与えているところがありますが、それはひとつの典型といえるでしょう。なぜなら、与えている餌は、パンも含め、穀物が中心であり、それは人間が農地で化石肥料を使ってつくったもので、また遠い外国からエンジン付きの船などで運んできたものだからです。さらに、最近では、シカ、イノシシ、クマなどが、農作物を食べるために農地を荒らすことが多くなりました。すると、これらの動物も化石燃料の恩恵おんけいにあずかっていることとなります。このように、人間活動を介まして、結果として化石燃料に依存している野生生物は多いでしょう。すると、人間が化石燃料を使うことによって、地球上の多くの地を富栄養化させ、野生生物全体の現存量を増やしていると考えることができそうです。

さて、ここで思い出してください。湖では富栄養化すると多くの生物群の生物多様性が高くなりました。その傾向は、陸上生態系でも海洋生態系でも同じでした。

すると、大量の化石燃料を使った人間の活動は、地球上の多くの地で生物多様性を高めていると考えられないでしょうか。このように言うと、「<sup>⑥</sup>実際とは違ちがう」と言われる方が多いかもしれません。ただし、その際に考えていただきたいことは、多くの人が対象にしている生き物たちは、人間の目で容易に見える大型の生物が中心だということです。ところが、人間が利用しなかった有機物（食べ残しなど）を餌にするのは、それを分解する微生物や小型の生物が中心となるでしょう。そうすると、化石燃料の使用量の増加に伴って現存量を増やす生物は、牛や豚など、人間が飼育している動物を除き、主に人間には見えにくい小型の生物なのではないでしょうか。ただし、人間の影響が強く及んでいるのが小型生物だからといって、それを軽んじてはいけません。

<sup>⑤</sup>、先にも述べましたが、その小さな生き物たちが、食物連鎖を通して、大型の生物の命を支えているからです。人間は、化石燃料を使うことによって、人間社会のみならず、野生生物群集を、ひいては地球上の生態系全体を変えているといえそうです。そうすると、将来、化石燃料が枯渇こぼつするときに来たらどうなるでしょうか。化石燃料に強く依存した人間社会はもとより、地球上の生態系全体にも大きな影響が及ぶことになるでしょう。エネルギー資源問題は、人間社会だけの問題ではないのかもしれませんが。

（花里孝幸『生態系は誰のため？』（ちくまプリマー新書）より）

注1・甲殻類……エビやカニの仲間。

注2・捕食者……生物が他の生物を捕らえて食うこと。また、その者。

問一

1

5

に入ることばとして適切なものを次の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。(ただし、同じものは使えない。)

ア すると      イ そのため      ウ ところで      エ たとえば      オ ところが      カ なぜなら

問二

~~~~線部A・Bの本文における意味として適切なものを次の中からそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。

A「脚光を浴びて」

ア 世間の注目の的となって

イ 人目につく場所に出て来て

ウ 輝く太陽の光を浴びて

エ 誰もが気にかけるようになって

B「介して」

ア よくわかって

イ 回り道して

ウ 仲立ちとして

エ 信頼して

問三

X

Y

に入る二字のことばを次の漢字を組み合わせさせてそれぞれ作りなさい。

摘 歛 適 住 観 勸 応 迎

問四

本文には次の一文がぬけている。どこに入れたらよいか。この直後（ここ）にくる五字をぬき出しなさい。

したがって、干潟でのアオサの大発生は、ヘドロに含まれていた栄養素によって促されたといえるのです。

問五

——線部①「多くの生物が生息し、多様性が高い」とあるが、こうした状態を生み出すと考えられる条件を、これよりあとの文中から探し、「〜こと」につづくように十字以上十五字以内でぬき出しなさい。

問六

——線部②「ヘドロの中では、…」とあるが、この段落で述べられている内容を言いかえた四字のことばを、これよりあとの文中からぬき出しなさい。

問七

——線部③『ヘドロの海』は必ずしも悪いところではない」とあるが、それはなぜか。文中のことばを用いて三十字以内で答えなさい。

問八

「 Z 」に入る六字のことばを、文中からぬき出しなさい。

問九 — 線部④「人間の一方的な視点に依存したおかしな評価」とあるが、筆者がこのように述べる理由の根拠（しんきよ）となる部分を、これより前の文中から四十字以内でぬき出し、最初と最後の五字を答えなさい。

問十 — 線部⑤「結果として化石燃料に依存している野生生物は多い」とあるが、その理由として適切なものを次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 船で運ばれた大量の有機物は、ほとんどが動物の餌になるため、間接的に化石燃料の恩恵があるから。
- 2 動物の口に入る小麦などの穀物の多くは、人間が化石燃料を利用することによって得られているから。
- 3 人間は野生生物を救うために化石燃料を利用して穀物を作り、化石燃料を用いて外国に輸出しているから。
- 4 化石肥料の使用によって農地が豊かになり、野生生物が増えるということを人間は自覚しているから。

問十一 — 線部⑥「『実際とは違う』と言われる方が多いかもしれませんが」とあるが、その理由について述べた次の一文の□に当てはまることばを、文中から十字以上十五字以内でぬき出さなさい。

ふつうは、□の存在にまで気づかないから。

問十二 本文の内容と合っているものを次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 干潟では、人間の出した有機物のみを餌として微生物が育つことで生物の多様性が確保されている。
- 2 生物の多様性に関わるヘド口の重要性が人々に理解されにくかった理由は、その悪臭によるところが大きい。
- 3 水質汚濁は人間の手による環境破壊であり、生態系に影響を与えてきたことは見直されねばならない。
- 4 人間が使用している化石燃料が生物の生存にも関わり、地球上の生態系を変えていると言える。

|      |
|------|
| 受験番号 |
|      |
| 氏名   |
|      |

|    |
|----|
| 得点 |
|    |

|    |   |   |
|----|---|---|
| 問一 | ⑤ | ① |
|    |   |   |
|    | ⑥ | ② |
|    |   |   |
|    | ③ |   |
|    |   |   |
|    | ④ |   |
|    |   |   |

|    |     |
|----|-----|
| 問二 | 部首  |
|    |     |
|    | 部首名 |
|    |     |

|    |  |
|----|--|
| 問三 |  |
|    |  |

|    |   |
|----|---|
| 問四 | 立 |
|    |   |
|    | 歩 |
|    |   |

|    |  |
|----|--|
| 問五 |  |
|    |  |

|    |  |
|----|--|
| 問二 |  |
|    |  |

|    |   |
|----|---|
| 問一 | 1 |
|    |   |
|    | 2 |
|    |   |
|    | 3 |
|    |   |
|    | 4 |
|    |   |
|    | 5 |
|    |   |

|    |   |
|----|---|
| 問三 | A |
|    |   |
|    | B |
|    |   |

|    |  |
|----|--|
| 問四 |  |
|    |  |

|    |  |
|----|--|
| 問五 |  |
|    |  |

|    |  |
|----|--|
| 問六 |  |
|    |  |

|    |  |
|----|--|
| 問七 |  |
|    |  |

|    |  |
|----|--|
| 問八 |  |
|    |  |

|    |  |
|----|--|
| 問九 |  |
|    |  |

|    |  |
|----|--|
| 問十 |  |
|    |  |

|    |   |
|----|---|
| 問一 | 1 |
|    |   |
|    | 2 |
|    |   |
|    | 3 |
|    |   |
|    | 4 |
|    |   |
|    | 5 |
|    |   |

|    |   |
|----|---|
| 問二 | A |
|    |   |
|    | B |
|    |   |

|    |   |
|----|---|
| 問三 | X |
|    |   |
|    | Y |
|    |   |

|    |  |
|----|--|
| 問四 |  |
|    |  |

|    |  |
|----|--|
| 問五 |  |
|    |  |

|    |  |
|----|--|
| 問六 |  |
|    |  |

|    |  |
|----|--|
| 問七 |  |
|    |  |

|    |  |
|----|--|
| 問八 |  |
|    |  |

|    |  |
|----|--|
| 問九 |  |
|    |  |

|    |  |
|----|--|
| 問十 |  |
|    |  |

|     |  |
|-----|--|
| 問十二 |  |
|     |  |